

県下の交通事故

(平成7年3月20日現在)

区分	発生件数	死者	傷者
年別			
平成6年	968件	26人	1,283人
平成7年	1,072件	19人	1,424人
比較	+104件	-7人	+141人



◇ 第107号 ◇
 発行所
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 TEL 甲府 (0552) 32-4682
 (0552) 37-7827

推進事項

- 一、新入学児童・園児に対する交通安全教育の推進
- 二、街頭指導及び通学(園)路等の点検整備の推進
- 三、新入学児童・園児を交通事故から守る県民意識の醸成

新入学児童・園児を交通事故から守る運動

4月1日(土)から
4月10日(月)まで



「交通ルールを守って通行します」・横断歩道を渡る園児たち(甲府)

この運動は、慣れない通学(園)路を通い始め

春の全国交通安全運動

5月11日(木)～20日(土)まで

毎年四月中旬に行われていた春の全国交通安全運動は、今年も統一地方選挙がこの時期に行われるため、先送りして、五月十一日(木)～二十日(土)までの十日間、実施することになりました。

この運動は、県民の交通安全意識を高め、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止を図ろうと、全国一斉に行われるものです。運動の重点は、

- 一、シートベルトの着用の徹底(全国)
- 二、子どもと高齢者の交通事故防止(全国)
- 三、スピードの出過ぎによる交通事故防止(県独自)

県民一人ひとりが情勢を正しく見つけ、夢多き子供たちの交通安全のために立ち上がらねばならない。



平成六年の交通事故死者は、全国的には昭和六十三年から七年連続して一万人を超えており、県内でも一昨年の九十六人を上回る百十四人を数え、その増加率は全国ワースト一位となっております。

交通死亡事故はあつてはならない

県警交通部長 山田 晃



現在の交通情勢は、全国で運転免許人口が六千七百万人を超え、自動車保有台数も六千七百万台を超えるなど、その量はますます肥大化するとともに、交通事故も増加し、

大気汚染や道路騒音など交通公害と言われる問題も生じており、さらには交通渋滞が日常化するなど多くの問題を抱えています。こうした交通事故の増加傾向に対し、これまで

けなないものです。交通事故の原因のほとんどが基本からはずれた運転によるもので、どうすれば基本的な交通ルールや交通マナーが守られるのか、その工夫はないものであります。

頂上、県民の皆様一人ひとりが意識的に交通安全を遂行し、先ず身内から交通安全をさせないよう交通事故を起こさないよう心がけることを切に願うものであります。

▽新入学児童・園児を交通事故から守る運動が始まっています。この運動が夢多い子ども達に激しい車社会を生き抜いていく光明となることを願うものです。



死者が五千五百人を上回り、戦後最大の震災・淡路大震災は、活断層が突然動いて起こる内陸直下型地震の脅威を、そしてそれは、地震国日本の避けることのできない宿命であることを見せつけてくれました。この地震で犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

▽活断層の多いことでは山梨県も例外ではありません。塩尻小淵沢構造線をはじめ主な活断層だけでも六本も走っており、マグニチュード6クラスの地震がいつ起きてもおかしくないといわれています。災害は忘れた頃にやってきます。今回の大地震を他岸視することなく、物心両面の準備をしておくことが必要です。▽いつ起こるか知れないと備えておく点では、交通事故防止も同様です。全国では七年連続して死者が一万人を超えており、県内でも毎年百人を越す死者が出ています。交通事故は自分以外の誰かが起こすものだから甘んじておいて、いつも注意をこらし、危険を先読みして最善策を準備し、正しく実行して危険を避けることが必要です。

新入学児等を守る運動推進

平成七年度事業計画・予算成立

県交通安全協会は、三月二十日、中巨摩郡昭和町のアピオで理事・評議員合同会議を開き、平成七年度の事業計画(案)及び予算(案)を審議決定し、また、四月一日から十日までの十日間県独自の運動として推進することになった新入学児童・園児を交通事故から守る運動及び五月実施となる春の全国交通安全運動のすすめ方を協議し、



県安協理事・評議員合同会議の状況

総力をあげて取り組むことを決めました。会議では、志村会長が欠席したため、山下副会長が代って「県内の交通情勢は依然として予断を許さぬ状況にあるが、死者・柙押え込み実現の可能性は大きい。各位は各種の交通安全活動に総力を傾けて取り組んで欲しい。そうした観点で平成七年度の事業計画(案)と予算(案)を提案するので十分審議され、決定後は確実に実行願いたい」とあいさつし、続いて議事に入りました。

平成七年度事業計画

一、交通安全運動等の実施
春・秋の全国交通安全運動及び夏期・年末年始の交通安全県民運動の推進
二、交通安全活動の推進
三、交通安全教育の推進
四、交通安全啓発活動の推進
五、交通安全運動の名称と実施期間
六、交通安全運動の名称と実施期間

児を交通事故から守る運動、また、統一地方選挙の関係で五月十一日から二十日までの十日間に先送りされて実施することになった春の全国交通安全運動の取り組みなどに

ふれあいとゆとりで つなごう 無事故の輪

県交通安全協会の平成七年度運動基本要綱決まる

県交通安全推進協議会(会長天野知事)は、二月十四日県民会館大会議室で、企画・交通安全・道路・交通安全教育・暴走族追放・被害者救済の六部の合同会議を開催しました。

このあと県警古原斌交通部長が議長となつて協議に入り、平成七年度の「交通安全運動基本要綱」を決定し、県内での交通安全活動の指針とすることにしました。



県交対協合同部会の状況(県民会館大会議室)

阪神大震災は、大変な被害をもたらした。地震の恐ろしさを知り、地震は突然襲ってくる災害です。

大地震発生!

ドライバーの心得

- ① 車を道路の左端に寄せて止まる
- ② ラジオなどを聞きその情報に従う
- ③ キーをつけたまま避難する
- ④ 避難時はここに気を付けて止まる

- 重点目標
- 一、シートベルトの着用
 - 二、若者による無謀運転及び暴走族の追放
 - 三、子どもと高齢者の交通事故防止
 - 四、夜間の交通事故防止
 - 五、違法駐車車の締め出し
 - 六、道路交通環境の整備

- 交通安全は、県民一人ひとりが主役です
- 春の交通安全運動 四月二十九日～五月七日、九日間
 - 夏の交通安全運動 七月十一日～八月二十日、三二日間
 - 秋の交通安全運動 九月十一日～三十日、二〇日間

財団法人 山梨県交通安全協会 経営
山梨自動車学校
 中巨摩郡八田村野牛島1828
 (運転免許センター内)
 TEL (0552) 85-0752

一日間
 ○年末年始の交通事故防止県民運動
 十二月十日～翌年一月十日、三二日間
 (年間を通しての運動)
 ○シートベルト着用徹底県民運動
 「シートベルト着用推進の日」毎月十四日
 ○交通安全一市町村一運動

全日交等の会議

◇都道府県安協事務理事・事務局会議
 全日本交通安全協会(正石石外四会長)では、三月十日都内東條会館で都道府県交通安全協会事務理事・事務局局長会議を開催し「平成七年度行事予定について」及び「交通安全協会と市町村の諸問題について」を協議しました。

◇管技協都道府県支所長会議
 日本交通管理技術協会(浅沼清太郎会長)では、二月十日東條会館で管技協都道府県支所長会議を開催し、「自転車安全整備制度当面の諸問題について」及び「TSMマークの普及促進等について」を協議しました。

四月一日から十日まで「平成七年度新入児童・園児を交通事故から守る運動」が行われていました。車社会を無事故で生きぬくためには、子どものころからの安全教育が是非とも必要です。

県警察では、この運動期間中、県下各警察署から市町村教育委員会を通じて新入児童・園児の父兄に対し、子どもへの交通安全指導の要点を盛り

山梨県警

父兄へのレター作戦

新入学(園)児を交通事故から守る運動
道路の渡り方など呼びかけ

り込んだ内容の手紙を配布し、実践を要請するレター作戦をくりひろげています。

桜の花びらの降りかかるとな、真新しいランドセルを背負い喜々としてくる子どもたちを見るとき、誰もが痛ましい交通事故に合うことがないようにと願うだろうと思います。

そうした子ども達の姿を見かけたときは、是非

- とも交通事故に合わないようにとひと言声をかけてやって欲しいものです。子どもの交通安全教育のポイント
- 一、道路の渡り方
 - 横断するとき
 - 横断歩道・信号機のある場所・左右がよく見える直線道路でも、安全に渡れることを確認してから渡る
 - 安全確認するとき
 - 「手をあげて」「右を見て」「左を見て」「もう一度右を確認」する。最後に「もう一度右を見る」ことが必要です。
 - 車が止まったとき
 - 安全を確認してサッサと渡る
 - 二、右側通行の励行
 - 「人は右、車は左」の「対面交通」です。
 - 「対面交通」は、相互に相手の行動が分かり素早く危険をさけることができます。
 - 三、飛び出しの危険
 - 家から道路に出るときは、道路の手前で必ず「とまり」安全を確認してから飛び出しは危険です。車はすぐに止まれません。
 - 四、道路でふざけない、遊ばせない。



チャレンジ200達成チームの表彰式

これは、県内に居住する無事故・無違反で競い合っている、全員が無事故・無違反であったチームが表彰されるというもので、表彰式にはこの事業への参加者等約四百人が出席して盛大に行われました。

平成五年度に引続いて第二回目となった今回の参加者は、五百一十チーム、五千四百十人で、前回より百五十四チーム、一千五百四十人も多く、関心の高さがうかがわれましたが、それだけに無事故・無違反を達成したチームも多く、二百四十六チーム、二千四百六十人が達成し、その達成率は四八・一％で、前回より〇・二ポイント上回っています。

達成した二百四十六チームには、県交対協会長である天野県知事から表彰状と副賞として楯が贈られ、目的達成と交通事故防止に寄与した満足感にひたっていました。

五、信号を守る

- 「青」になったことを確かめてから渡る。
- 信号の意味を教える
- 「黄」は「あぶないから渡るな」の注意信号です。
- 「青」になったからといって、すぐに走って渡るの危険です。
- 「車の陰にまた車」のあることを教えますよ。

また入学前の新入児童父兄に対する説明会の席上、両宮婦人部長等役員が「交通安全」「安協石和支部婦人部」と記入された黄色のランドセルカバー三百枚を父兄代表に贈って、交通安全を訴えています。

こうした活動は、平成三年の新入学時から行われており、父兄から喜ばれています。

二四六チームが達成
チャレンジ200表彰式

県交対協推進協議会が主催、県警察、県交通安全協会等交通関係機関団体協賛の「セーフティドライブチャレンジ200」の表彰式が、二月十七日甲府市真川一丁目の県立文学館で行われました。

「青」になったからといって、すぐに走って渡るの危険です。また入学前の新入児童父兄に対する説明会の席上、両宮婦人部長等役員が「交通安全」「安協石和支部婦人部」と記入された黄色のランドセルカバー三百枚を父兄代表に贈って、交通安全を訴えています。

こうした活動は、平成三年の新入学時から行われており、父兄から喜ばれています。

第2種TSマーク(赤色)

第1種TSマーク(青色)

自転車安全整備店のしるし

ちなみに、期間中の交通事故による死者は四十九人で、前年同期より九人減少しています。平成七年度第三回目のチャレンジ200も同時に実施する方向で準備

「ただいま」といって、だいたい内容カラーを印刷し郵送配布するところ、この「レター作戦」を行っています。

また入学前の新入児童父兄に対する説明会の席上、両宮婦人部長等役員が「交通安全」「安協石和支部婦人部」と記入された黄色のランドセルカバー三百枚を父兄代表に贈って、交通安全を訴えています。

こうした活動は、平成三年の新入学時から行われており、父兄から喜ばれています。

TSマーク	第1種(青色)	第2種(赤色)
入院(15日以上)	一律1万円	一律10万円
死亡	一律30万円	一律100万円
賠償責任	限度額500万円	限度額1,000万円

このところ県内で給付を受けた自転車事故は、平成六年六月二十二日に南甲府警察署管内で発生した死亡事故をはじめ、激しい情勢です。

「TSマーク」は、自転車安全整備店の安全整備士が、正しく点検・整備(有料)した安全な自転車に貼られるマークです。自転車を利用されている方は、自転車安全整備

大型自二免許取得希望者の講習会をしています!!

この講習会では、一輪車特別指導員の懇切丁寧な指導のもとに、ナナハにのり、乗っての実技訓練が受けられ、終了後には、試験に際して「予備検査」が免除される「受講証明書」が交付されます。

(問合せ・申込み先) 最寄りの一輪車取扱店

新規映画紹介

(運転者向け)
「過積載・甘えの構造」
16ミリ・カラー・25分
「見える危険、見えない危険」
16ミリ・カラー・28分
(高齢者向け)
「コント山口君と竹田君のお年寄りの交通安全」
16ミリ・ビデオ・カラー・25分
(子ども向け)
「危ない、ゆるさん」

日曜日は免許更新者が多く混雑しています

八田村にある山梨県安全運転学校では、日曜日にも運転免許の更新ができるように窓口を開いています。

ところが昨秋頃から日曜日の更新者が増え始め、昨今ではこれまでの日曜日の倍以上にふくれあがり、更新手続きをするだけで一時間以上もかかっています。

月々金曜日はすいており、待ち時間もほとんどありませんので、日曜日でなくても都合のつく方は日曜日は避け、月々金曜日においでください。お待ちしております。

毎年、二・三件に上っています。

安全と安心の約束された「TSマーク」貼付の自転車に安全走行しましょう。

16ミリ・ビデオ・カラー
・21分
・29分
「自転車事故を防ぐ」
16ミリ・ビデオ・カラー

自動車や原付自転車には必ず任意の損害保険代理店

株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13
日東ビル4階
TEL 0552-28-0691

無料 交通事故ご相談

電話のご相談もお受けします ☎0552-28-8335 (直通)

相談日: 月曜から金曜午前9時~1時
午後1時~4時(祝祭日を除く)
※専門の相談員が現場に立ってご相談に立ちます。
※弁護士相談日: 毎月第3木曜日午後2時~4時

社団法人 日本損害保険協会
甲府自動車保険請求相談センター
甲府市丸の内3-1-6(民生生命山梨ビル3階) 甲府駐在事務所内 ☎0552-28-8810

安全と安心の約束された「TSマーク」貼付の自転車に安全走行しましょう。

16ミリ・ビデオ・カラー
・21分
・29分
「自転車事故を防ぐ」
16ミリ・ビデオ・カラー

各地でブロック研修会

県下の交通安全協会では、交通情勢や交通法令の修熟及び地域に根ざしたより有効な安協活動を行うための意見交換等の場として、毎年数安協で構成されたブロック研修会を開催し、成果をあげています。

○峡東ブロック研修会

日下部・石和・塩山の三交通安全協会が構成する「交通安全協会峡東ブロック研修会」は、二月八日山梨市内川ぎりで開催されました。

研修会へは、講師・助言者の立場で県警古屋交通部長、小林参事官、県安協酒井専務理事らが出席されました。



峡東ブロック研修会の状況（日下部）

県警古屋交通部長、小林参事官、県安協酒井専務理事らが出席されました。

塩山の三署の交通課長等が、また日下部・石和・塩山の三交通安全協会の正副会長等計二十人が出席しました。

研修会では、今澤日下部警察署長、秋原平日下部交通安全協会会長が挨拶したのち、各交通安全協会から平成六年中の活動状況及び交通事故防止の取組について報告が行われ、協議は極めて有意義なものとなり、今後の活動が期待されます。

続いて県警交通部長小林辰男参事官が平成六年中の県内交通事故情勢を説明したのち「交通事故を減少させるため、交通関係団体の中核である交通安全協会の一層の活躍を期待している」と奮起をうながしました。また県安協からは「交通安全協会による交通安全活動の

は、二月十三日都留市上谷山一會館で開催されました。

研修会へは、県警古屋交通部長、県安協酒井専務理事等が出席、また地元からは市内の四警察署長以下交通課幹部及び四交通安全協会の正副会長ら三十五人が出席し、県内の交通情勢と交通安全活動のすすめ方などについて意見を交わしました。

ところが最近、全国各協活動が誤解され、あるいは役員等による熱心な街頭活動が真目に出て、やりきれない訴訟事件に発展しているという事案も散見されています。

こうしたことから富士吉田交通安全協会（田中経策会長）では、日頃役員と自覚を、誇りが重なる、富士吉田安協

地区だより

＝新年度に備えて＝



石和交通安全協会定期後会

県下安協初の平成7年度総会（石和）

県下初の新年総会開く

石和交通安全協会（小野厚会長）は、二月十七日

日石和観光温泉ホテルで県下初の平成七年度総会を開催しました。

総会には、米賀として県警古屋交通部長、県安協奈良田常務理事、地元から県議会議員、町村長及び加藤石和安協会長等が出席、受賞者、石和安協役員等合わせて約百人により、盛大に行われました。

総会では、石和交通安全協会小野厚会長及び石和警察署佐野正実署長があいさつをしたのち、交通安全功労団体、交通安全功労役員及び優良運転者の表彰が行われ、続いて米賀あいさつが行われました。

このあと議事に入り、平成六年度事業報告及び決算報告を承認、続いて役員選任、平成七年度の事業計画案及び予算案が審議され、それぞれ承認されました。

役員選任では、婦人部長である副会長を除いて小野厚会長以下正副会長は再任、長年ご活躍された伊藤富美子婦人部長さんは勇退され、後任に芦川支部婦人部長の市川澄恵さんが就任され、副会長に選ばれました。

また予算編成では、道交法改正で免許証の有効期間が伸びる人が増えるため、二、三年後頃には更新者が減少し、会費収入も五〇％以上の減収になると見込まれることから、繰越金を積立てて備えることになりました。

新入学 親子交通安全教室

日下部交通安全協会（秋原卯平会長）では、三月九日東八代郡春日居町所在の「かすがい東保育園」と「かすがい西保育園」で、今春卒園して

四月一日から小学校へ入学する園児と父母を対象にした親子交通安全教室を開催しました。

この交通安全教室には、秋原会長以下役員十一人が出席し、日下部警察署雨宮交通係長三人の指導を得ながら新入学対象園児五十三人とその父母等に対して、交通安全講話とミニ信号機を利用して

の訓練が行われました。

交通安全講話は日下部署雨宮交通係長から正しい道路の歩き方についてわかりやすい話があり、ミニ信号機利用の訓練では、青だからといって安心せずに、右見て、左見て、もう一度右見て渡ることを繰り返し学んでい

ました。



ミニ信号機で正しい渡り方を学ぶ園児達（日下部）

毎月十四日はシートベルト着用推進の日

運転免許保有者数や自動車保有台数は増加を続けており、交通情勢は深刻さを増しているだけに、交通事故防止のための交通安全協会の活動は、社会から大きく期待されています。

甲府交通安全協会（秋山登会長）の婦人部（横田綾子部長）では、二月十七日甲府市内ニュー機山で婦人部の新制服発表会を開催し、五十三人の婦人部員が新制服を着装して披露しました。

発表会には、望月甲府警察署長以下交通課幹部、県安協酒井専務理事及び甲府安協役員等多数が出席しましたが、これまで帽子とタスキだけだった婦人部員が、紺色のスリーブに赤いネクタイ、しゃれた帽子というりりしいうちにも品格のある新制

服姿で登場すると、場内は一斉にホーッとという感嘆のどよめきが起こりました。

婦人部の活動

四月からの各種交通安全運動でのご活躍が期待されます。

その結果、〇自らが交通強者としてのドライバーであることを自覚して、安全運転に徹し、他の模範となること。〇交通弱者である子どもと高齢者の交通事故防止のため、地域に適合したきめ細かい活動をすすめることなどを決め、年間を通じて最善の努力をしていくことを誓い合いました。



婦人部の新しい制服

婦人部の新制服発表会

発表会には、望月甲府警察署長以下交通課幹部、県安協酒井専務理事及び甲府安協役員等多数が出席しましたが、これまで帽子とタスキだけだった婦人部員が、紺色のスリーブに赤いネクタイ、しゃれた帽子というりりしいうちにも品格のある新制

婦人部が新春の集い

非崎交通安全協会（山寺嘉一郎会長）の婦人部（向山しげ子部長）では、一月二十八日北巨摩郡須玉町の若神楼で新春の集いを開催しました。

この集いには、米賀として県安協酒井専務理事、地元の山寺会長以下本会幹事が出席、婦人部員は向山部長以下四十五人が出席し総勢六十八人によって

富士吉田交通安全協会田中経策会長名の文書を各支部長に送り、「安協活動を行っていただくことに誇りをもつ」とともに「地域の人々の期待を裏切らぬよう襟をただして模範を示す」ことが必要であると、役員等の奮起をうながしました。

さらには地域に根ざし、充実した交通安全活動が行われていくものと期待されます。

盛大に行われました。

集いでは、向山婦人部長が、「今年の婦人部活動の方向づけを明確にしたい」とあいさつ、続いて清水非崎署長、県安協酒井専務理事、非崎安協山寺会長が祝辞を述べ、意見交換に入りしました。